

キーワードから即興で伝える「話す」活動 から「書く」活動へ ～JICA 訪問で学んだことを発信しよう～

(SUNSHINE ENGLISH COURSE3 PROGRAM4 Sign Languages, Not Just Gestures!)

①話・発

①書く

①統合

②個・表

②評価

③タブ

④Google Jamboard

④画面録画

④Googleドキュメント

【ここがポイント！】

①「Google Jamboardでの思考の整理を基に、即興で話す活動へ」

総合的な学習の時間でのJICA学習（国際理解学習）のまとめとして、世界で起きている児童労働や環境などの問題に係る画像について、相手に紹介する活動を行う。まずGoogle Jamboardで説明に必要なキーワードを入力し、相手により伝わりやすくなるための順序やつなぎの言葉などを整理させた後、スピーキング活動を即興で行う。

②「紹介動画に対する他者評価や関連質問を基に、より内容を深めた書く活動へ」

スピーキング活動後、画像の紹介をする動画をスクリーンショットの録画機能を用いて作成する。動画はALTに提出し、ALTから生徒一人一人に対する評価と関連質問をもらう。生徒は、よりよい説明のために必要な情報を追加したり、内容を整理したりしながら紹介文にまとめる。

【実践の目標】

世界で起きている問題について、3つの条件を意識し、相手に事実や自分の考えをより分かりやすく説明する。

条件：①画像について、何をしている人なのか、どうされているものなのかを1文目で分かりやすく伝える。

②ALTの先生が興味をもてるように具体的に説明する。

③事実や自分の考えなどを聞き手や読み手に理解しやすい順序で伝える。

【実際の場面】

1. 自分が紹介したい画像を貼り付けたGoogle Jamboardにキーワードを書きこみ、どのように伝えるかを考える

総合的な学習の時間で調べたことをキーワードにしてGoogle Jamboardにタッチペンで入力した。どのような表現が使えるか、つなぎの言葉をどこで使えばよいかなどについて個人で考えた。



2. ペアで画像について紹介し合い、相手からの関連質問に基づきキーワードを付け加える

Google Jamboardの画像（キーワードなしのもの）を見せながら、紹介した。紹介後は相手から関連質問をしてもらい、その後キーワードの付け加えを行った。

3. グループで伝えたい表現について分からないことを解決する

1回目のペア活動でうまく表現できなかったところを調べたり、より分かりやすくするための順序をグループで話し合ったりした。

4. 修正した内容を新しいペアと紹介し合う

グループで話し合ったことを基に、もう一度紹介し合い、その内容に対して互いに関連質問を行った。その後、難しかったことや分からなかったことを全体で共有しながら、ペアを変えて計3回の紹介活動を行った。

5. スクリーンショットで録画し、ALTに提出する

3回の紹介活動を通してキーワードを整理し、スクリーンショットの録画機能を使って画像の紹介を録画した。ALTが録画を基に評価するとともに、関連質問を行った。

6. Googleドキュメントでポスターを作る

ALTからの関連質問により、説明に必要な情報を更に増やし、話した内容を整理しながら、まとまりのある文を書き、ポスターを作った。ポスターは、Googleドキュメントで入力し、文化発表会で発信した。

【成果と課題】

【成果】

○話したいことを即興で相手に分かりやすく伝えるために、情報（キーワード）を整理したり、追加や修正をしたりするのにGoogle Jamboardの活用は有効だった。

○即興で話す活動を進める中で、その場で端末を使って言い方が分からない単語を調べたり、発音を確認したりするなど、主体的に学ぶ生徒の姿が見られた。

○スクリーンショットの録画機能を活用することで、多くの生徒が録音した自分の発音を確認しながら正しい発音やイントネーションになるように取り組んでいた。

【課題】

○ICTを活用した活動には接続や操作等に時間の確保が必要となるため、従来の指導とのバランスをどのように取るのか考えていきたい。

○ALTによる評価を行う場合、事前の連携時間を十分に確保する必要がある。

世羅町立世羅西中学校

